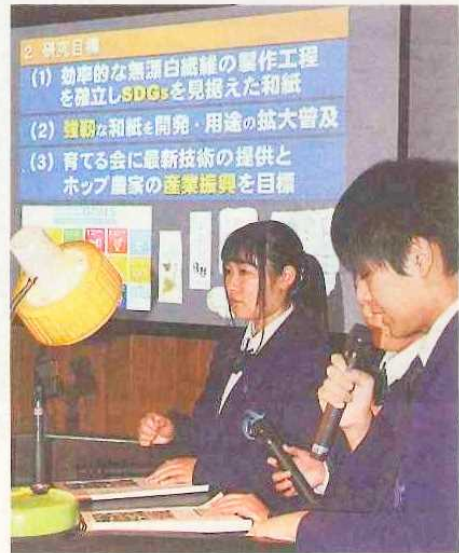


緑峰ニュース



10/22 の岩手日報で、本校生徒の農業クラブ全国大会への出場が報じられました。

さあ「農業甲子園」へ



本番を想定し、研究成果の発表に臨む生徒

遠野緑峰高 ホップ和紙を紹介

遠野

ホップ和紙 研究で地域産業を盛り上げる遠野市の遠野緑峰高（菊池勇校長、生徒151人）生産技術科草花研究班は24日から、鹿児島県で開かれる第69回日本学校農業クラブ全国大会に出場する。本年度深化させた研究に自信を深めるメンバーの3年生9人は、農業高校の甲子園とされる舞台

を心待ちにしている。

21日は市役所でプレ発表会を開き、班長の山蔭仁哉さん、佐々木未悠さん、菊池優花さんが本年度確立した高強度の和紙制作工程を説明。ちゃんちゃんこやドレス、アクセサリーなど新開発商品を紹介した。

同班は2013年度から、廃棄処分されていたホップのつるの皮を活用した和紙作り研究に本格着手。昨年度までに漂白剤を使わずに皮の繊維の色を落とす工法を確立した。名刺や卒業証書、ランプシェードなど和紙を使った商品開発も

進み、農家の意欲や所得向上につなげている。

山蔭さんは「先輩や市民の協力あつての全国舞台。最優秀賞を取り、遠野の産業を活気付けたい」と力を込めた。